# 世界遺産登録で観光振興
# 2014年 地域活性の起爆剤に

## 観光立国の実現は、地方（地域）から

### 富士山に続け 未来の世界遺産候補

2013年は日本のシンボル「富士山」が世界文化遺産に登録され、大きな話題となった。観光には自然や歴史、文化といった地域資源の活用が欠かせない。その中でも世界遺産への登録は、国内外に地域を売り込む大きなチャンスとなる。世界遺産登録に向けて準備が進められている国内の候補地を紹介する。

世界遺産は「人類が引き継いでいくべき、かけがえのない地球の宝物」を保護するのを目的に、1972年に国連教育科学文化機関（ユネスコ）が世界遺産条約を採択したのが始まり。

登録される物件は不動産に限られ、建造物や遺跡が中心の「文化遺産」、地形や地質、生態系が中心の「自然遺産」、文化遺産と自然遺産の両方を備えた「複合遺産」の三つがある。「顕著で普遍的価値」を持っていることが登録の基準になっている。

世界遺産に登録されるためには、まず国内の暫定リストに記載されなければならない。その中から政府が1年に1回毎年9月末までに、国の推薦案件をユネスコに提出する。一度に推薦できるのは2件までで、うち文化遺産は1件に限定されている。

文化遺産はICOMOS（国際記念物遺跡会議）、自然遺産はIUCN（国際自然保護連合）によって調査、検討が行われ、その結果を元に翌年5月頃に評価が発表される。「登録」と評価されれば毎年6～7月に開催される世界遺産委員会で正式に決定される。

現在、国内の暫定リストに記載されている遺産は12件。すべてが文化遺産候補だ。

2014年の登録を目指しているのは「富岡製糸場と絹産業遺産群」。2015年の登録を目指し、ユネスコに推薦されているのは「明治日本の産業革命遺産　九州・山口と関連地域」となっている。

（写真提供＝青森県教育庁文化財保護課、群馬県、長崎県、堺市、奈良県ビジターズビューロー、びわこビジターズビューロー、鎌倉市観光協会、長崎国際観光コンベンション協会、大牟田市、平泉観光協会）

### 明治日本の産業革命遺産　九州・山口と関連地域

［岩手県・静岡県・山口県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県］

明治維新後に政府と民間資本により進められた近代工業化の過程を示す8県の28施設の産業遺産群。「軍艦島」として知られる端島炭鉱＝写真中央と下＝や、世界で例のない稼動中の資産、三菱重工業の長崎造船所、新日鉄住金の八幡製鉄所などで構成されている。写真上は三池炭鉱宮原坑跡。

### 富岡製糸場と絹産業遺群　［群馬県］

日本の近代化と世界一の養蚕、製糸技術の歴史を表す産業遺産。写真は空から見た富岡製糸場（上）と繭倉庫。

### 縄文遺跡群　北海道・北東北を中心とした　［北海道・青森県・岩手県・秋田県］

1万年も安定して続いた縄文文化を知ることができる遺跡。写真は国内最大級の縄文集落・三内丸山遺跡の復元住居群。

### 長崎の教会群　とキリスト教関連遺産　［長崎県］

1549年、フランシスコ・ザビエルによる布教開始以来、江戸幕府の禁教政策でも守り抜かれた日本のキリスト教布教の歩みを示す遺産。写真は右上から時計回りに大野教会堂、旧野首教会堂、黒島天主堂、大浦天主堂。

### 飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群　［奈良県］

592年に推古天皇が即位してから710年に平城京へ遷都するまでの天皇・皇族の宮殿や諸施設などで構成される考古学的遺跡で、古代国家成立期の在り方を伝える。壁画などから中国大陸、朝鮮半島の影響が色濃く読み取れる。写真は石舞台古墳。

### 彦　根　城　［滋賀県］

17世紀初頭の城郭建築最盛期の遺産であり、保存状態が良好なことから天守は国宝に指定されている。櫓（やぐら）や門、内外郭や城下町も含めた一体を大名文化が見られる資産として世界遺産登録を目指す。

### 国立西洋美術館（本館）　［東京都］

20世紀を代表する世界的建築家ル・コルビュジエの代表作の一つで、日本に所在する唯一の建築物。フランス政府が関係６カ国に点在する氏の作品を取りまとめて登録を目指す。©国立西洋美術館

### 金を中心とする佐渡鉱山の遺産群　［新潟県］

江戸幕府や明治政府の経済を支えた佐渡鉱山の金は世界経済にも大きな影響を与えた。400年以上にわたって発展した採鉱・製錬技術や鉱山都市など、鉱山技術のほぼすべてを見ることができる。写真は道遊の割戸。撮影：西山芳一

### 平泉　仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群　［岩手県］〈拡張〉

平安時代後期に浄土思想に基づき、独特の支配を行った拠点として、中尊寺金色堂などが2011年に世界文化遺産に登録された平泉。構成資産を検討した際、１度除外された達谷窟＝写真＝などを再度暫定リストに入れ、資産の拡張を目指す。

### 宗像・沖ノ島と関連遺産群　［福岡県］

玄界灘に浮かぶ沖ノ島＝写真＝では４世紀から９世紀末まで、大陸との対外交渉や航海の安全祈願のため国家的祭祀が行われてきた。宗像大社や祭祀をつかさどっていた宗像氏の墳墓群なども合わせて登録を目指す。

### 百舌鳥・古市古墳群　［大阪府］

古墳文化の最盛期である５世紀前後の約100年間に築造された古墳群で、巨大な前方後円墳が集中している。国内最大規模の仁徳天皇陵古墳＝写真＝を始め、応神天皇陵古墳、履中天皇陵古墳などで構成。

### 古都鎌倉の寺院・神社ほか　［神奈川県］

日本で初めて武家政権のもと築かれた都市・鎌倉は、現在では唯一まとまった武家文化に触れることができる場所。高徳院の大仏＝写真＝や鶴岡八幡宮、建長寺、円覚寺など21件の資産で構成される。

週刊 観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体（観光全般）

日本専門新聞協会加盟紙
国土交通省交通運輸記者会所属
発行所
東京都台東区池之端２－７－17
井門池之端ビル　〒110-0008
株式会社観光経済新聞社
電話　03(3827)9800(代)
FAX　03(3827)9730
関西支社
大阪市北区天満２－１－20
天満松茂ビル　〒530-0043
電話　06(6354)6166・6290
FAX　06(6354)6292
北海道支局
札幌市東区北17条東15丁目
4の20の707　〒065-0017
電話　011(207)3777
FAX　050(3488)4375
東北支局
山形市緑町４－14－57
〒990-0041
電話　023(687)0702
FAX　023(687)0665
九州支局
福岡市博多区博多駅前4-33-11
朝日プラザ302　〒812-0011
電話　092(477)5711
FAX　092(477)5711
購読料年間一部8,400円
（うち消費税　400円）
郵送料　2,600円
振替口座　00140-2-86888番
Email info@kankokeizai.com

楽天トラベル
もっと世界と出会う旅。
楽天トラベル　検索
http://travel.rakuten.co.jp

新年号第１部

◎主な記事
☆３、４面＝観光庁・久保長官、日本観光振興協会・山口会長、日本政府観光局・松山理事長による特別鼎談
☆８～11面＝旅行業４社トップ座談会
☆17面＝旅館経営アンケート
☆18、19、21面＝旅館経営者座談会

おかげさまで、創刊50周年

宿泊・観光産業と共に歩み半世紀。今、次代の幕が開く

昭和38年（1963年）の創刊以来、斯界唯一の宿泊産業の専門月刊誌、全国誌として日本の宿泊産業・観光産業を応援し続けてまいりました。これからも、一層のパワーアップを図ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

月刊 ホテル旅館
［提携誌］The Cornell Hospitality Quarterly
●毎月22日発売
●A4変型判・約160頁
●定価2100円（税込）

お求めはお近くの書店、または弊社営業部、ホームページへ　柴田書店
問合せ、注文窓口＝TEL 03-5816-8282　ホームページ＝http://www.shibatashoten.co.jp

変革の時代を生き抜くための
新しい経営に向けて、活きた情報を発信する
宿泊産業の専門誌

2014年1月号（新年号＆50周年記念特別編集号）好評発売中！
特別寄稿：沢木耕太郎氏「お」のない「もてなし」
世界のホテル産業50年の歩み
――前史（1950年代）から60年代～2013年の主な出来事をテーマ別に追跡、現代への影響を分析、近未来を展望
ホテルチェーンの勃興と変遷／所有と運営の分化／M&Aと統合時代／REITの誕生
テクノロジーの発達／イールドマネジメントの導入／顧客の囲い込み戦略
新興市場での陣取り合戦／ホテルとデザイン／災害と危機管理／付帯施設の変化 他
宿から旅館、そしてRYOKANの時代
1. 旅館業・業態変遷と分化の過程をたどる
2. 業界団体トップインタビュー「日本の旅館業の課題と未来展望」
全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会 会長 佐藤信幸氏
日本旅館協会 会長 近兼孝休氏
3. カリスマ旅館経営者の言葉「旅館業これまでの50年とこれからの50年」
中谷健太郎氏（由布院 亀の井別荘）

■日本の観光・宿泊産業、新時代の担い手たち
星野リゾートの革新的運営手法と世界展開
「美しい日本を集めたホテルアライアンス」を拡大するアゴーラ・ホスピタリティーズの斬新さ
■ホテル業界団体トップインタビュー
・全日本シティホテル連盟会長　藤野公孝氏
■「ホテル旅館」創刊に尽力された方々からの「祝・50周年」メッセージ
■ホテルジャーナリスト対談
「温故知新のホテル産業」　富田昭次&山口由美

2014年2月号（1月22日発売）予告
特集1 宿泊産業を代表する経営者特別寄稿
トップ100人年頭所感
「2014年、日本の宿泊業界とわが社の展望」
特集2 森トラストホテルズ&リゾーツの首都圏フラッグシップ
「東京マリオットホテル」開業
・半年間でリニューアルを完遂した新施設のみどころ〈カラー〉
・トップインタビュー
森トラストホテルズ&リゾーツ代表取締役社長 伊達美和子氏
・部門別営業戦略をさぐる
特別企画1 全国各地に登場する個性派旅館・厳選10〈カラー〉
特別企画2 旅館業界識者&繁盛旅館経営者に聞く
「業界が抱える課題をいかに乗り切るか」